東ハト

あなたが考える東ハトのイメージを教えてください。（必須）

私が貴社に持っているイメージは他社とは違った商品を作ることの出来る発想力と商品開発力に長けた会社であるというものです。

暴君ハバネロのような今までになかった激辛の唐辛子をお菓子に使ってみようという考え、それを形にできる技術力。

ビーノのような直火で焙煎することでほかのえんどう豆スナックとの差別化を図ることやどんどん違う味を出し、お客様を飽きさせないことから私はこのようなイメージを持ちました

あなたの強みを１つ教えて下さい。

また、その強みを東ハトでどのように活かしていきたいですか？

私の強みは「やろうと思ったことをやり遂げる行動力」です。

私のアルバイト先の店では商品の需給予測が完全ではなく、そこから出る無駄、規定の時間内に使い切れなくなった食材のゴミが店の経営を圧迫する一因となっていました。

そこで私はマネージャーの許可を取り、需給予測の補足を自分の判断で行うことにしました。私は昼のピーク時などの大量の注文が来る中でも、5分ごとに出た注文の傾向、その日に仕えるクーポンの対象や割引額、前の週や前日の注文の傾向を参考に仕事を行いました。

その結果、無駄を削減することに成功し、金額にして1日1000円程を減らすことに成功しました。私はこの力をさまざまなアイディアを形にしていくことに役立たせ、貴社の商品開発や営業として取引先の要望に応えていくことに生かしたいと考えています。

高校・大学時代において、あなたが2年以上続けたことは何ですか？

（趣味や特技、サークルやクラブ活動でもかまいません）。

またそれによってあなたが得た成果または教訓を教えてください。

私はマクドナルドでアルバイトを6年間続けています。私はその6年間のアルバイト中でマクドナルドが大きな収益を得た時期、収益を半減させてしまった時期を見てきました。そこで私が得た教訓が、「お客様と向き合い、お客様の声を聞き、そこから学ぶ」ということです。近年のマクドナルドの失敗の原因の一つにお客様の声を経営戦略に盛り込んでないというものがあったのではないかと考えています。最近のマクドナルドが行ってきた大きな変革にレシート番号制、高級路線、材料の高騰による値上げがあります。実際に話を聞くと、この変革はお客様に不便を強い、お客様がマクドナルドに望んでいなかったものでありました。お客様の大部分が望んでいたのは安くおいしく便利にというものでした。これらを無視した経営を行った結果、お客はコンビニや牛丼チェーンに流れ大幅な収益減を呼んだのだと考えられます。そのような経験から私は以上の教訓を得ました。

あなたがこれまで家族や友達に、言わずにはいられなかった最高に面白いエピソードを教えてください。（必須）

私が高校生の時の話です。ある日友人と電車の中で受験の話をしていました。すると急に「お前じゃ5流大も受からねぇよ！」という声が聞こえてきました。私は誰のことを言ってるのか分からず、また友人と話を続けていたらまた「お前じゃ5流大も受からねぇよ！」と聞こえてきたので声のする方を向くと、そこには全く面識のないおばさんがいてもう一度同じことを言われました。あれ俺らが言われてるのかな？と友人と顔を見合わせていると、そのおばさんはもう一度「お前じゃ5流大も受からねぇよ」といい私がいつも降りている駅の一つ前の駅で降りていきました。何だったんだと思いながら私がいつもの駅で降りると、そこにはあのおばさんがいて「お前じゃ5流大も受からねぇよ！」といってすごい勢いで階段を降りていきました。まさか同じ駅だったのかそう思いながら階段を降りたらまたおばさんがいて「お前じゃ5流大も受からねぇよ！」といい走り去っていきました。

あなたの休日の過ごし方（場所、内容、一緒に過ごす相手等）を教えてください

私は基本的に休日はマクドナルドのアルバイトを昼の12時から夜の8時までしています。

アルバイトが休みのときは、一人でふらりと日帰りで帰れるような場所、例えば江の島、箱根、横浜、東京等に出かけて、そこの観光名所を見て回ったり、そこでしか食べれない様なものを食べ歩きます。もしくは食べログや雑誌などで美味しいお店の情報を仕入れ、そこに行ってみるということをしています。

大型の連休では友人と都合が合えば夏は海と温泉があるような場所、今年ですと伊豆に行ったり、冬は温泉がある場所、去年は草津に旅行しています。

2014年のあなたの抱負を教えてください(就職活動に関すること以外で)。

「悔いのない学生生活を送る」です

興味のあることは何でもやってみること。全力でやる事。常に笑えるようにすることです。学生時代にしかやる事の出来ないことは多いと思います。例えば自分の研究を進めること、いろんなとこに旅行に行くことなどがあります。そして旅行ならどこまで安く楽しいプランを組めるか等やるからには全力で取り組み、そしてそれがどんな結果であってもいい思い出として残せるよう笑っています。